



12月議会一般質問

教育行政について問う

不登校児童生徒の健康診断、教員の休憩時間



12月議会は、11月28日から始まり、12月12日で終了しました。私は、11日に一般質問を行いました。今回は、教育行政について（不登校児童生徒の健康診断、教員の休憩時間）、居住支援のための連携体制づくり、北千葉道路の進捗状況・地質調査について、社会福祉法人の寄付金行為について質問しました。

不登校児童生徒の健康診断

問 全国で不登校児童生徒は12年連続で増加。約35万4千人。健康診断の対応について。

答 内科、歯科など7項目で4月～6月に実施。必要に応じて個別に受診できるように配慮している。

問 受診できている人数を把握しているのか、

答 把握していない。総務省が「不登校になっていく学齢期の子どもの健康診断の受診状況及び健康の状態」について、全国的なアンケート調査を

実施するので、そのアンケート結果をもとに実態把握をしていく。

要望 不登校児童生徒の健康状態をしっかりと把握して、病気など発見が遅れて重篤な状況にならないように、受診できる体制を取ってほしい。

教員の休憩時間確保に向けた対応

問 文科省の調査でも、45分の休憩時間が平均23分しか取れていない。市内の教員の休憩時間に関するアンケートを実施。集計結果について。

答 800名から回答を得た。8割が「ほとんど取れていない」「まったく取れていない」という回答。要因としては、休み時間も児童生徒の対応

放課後も保護者対応や突発的な児童生徒の対応などがある。

問 教育委員会として、どのような対策を考えているのか。

答 設定した休憩時間内会議や打合せを入れない。校内に休憩時できる場を作る。など教員の休憩時間の取得が適切に行われるよう指導していく。

要望 来年の同じ時期に、今回と同じ休憩時間のアンケートを取ってほしい。いま考えている対策が功を奏しているのか、同じならば、どこを改善していけばよいのか。検討してほしい。

いま、教員離れが進んでいる。高知県では合格者の6割以上が辞退している。高知県だけではなく。教員不足は深刻。高市首相の「働いて、働いて、働いて、」が荷重労働を奨励するかのような言葉で、教育現場の未来はどうなっていくのか、現場の教員が嘆いている。子どもは社会の宝です。

居住支援のための連携体制づくり

問 住宅セーフティネット法改正に対する本市の考えについて。居住支援協議会の設立は、全都道府県と千葉市と船橋市。全国でも117か所。

答 低所得者、高齢者、障害者など住宅確保に配慮が必要な方々が安心して生活を送るための住まいの支援を目的としている。住まいやお困りごと解決のために、住宅・福祉・地域の多様な関係機関が連携して、一体的に取り組んでいくための居住支援である。

問 今後の対応について。
答 国から示された「手引き」にある4つの段階の手順ですすめている。市営住宅課が事務局となり、居住支援のあり方の協議をはじめた。
要望 困っているのはシングルマザー、被災者、外国人などたくさんいる。相談窓口をしっかりと作ってすすめてほしい。

今年もよろしく願います

「核なき世界へ 連携フォーラム」 核兵器廃絶を誓う一関東近県の首長らと



11月12日、市川市は、関東近県の「核兵器廃絶平和都市宣言」をしている自治体に呼びかけ、「連携フォーラム」を開催しました。当日は神奈川県三浦市の出口市長、習志野市の遠藤副市長が登壇し、講演した被団協の田中熙巳代表委員と、田中市長と意見交換を行いました。最後に、宣言文を読み上げ、核兵器廃絶を誓いました。2市以外に北茨城市、藤沢市、四街道市からも参加しました。また、長崎県出身の被爆三世歌手・上奥まい子さんが、自身の経験など語りながら、作詞作曲した歌を披露しました。会場には大和田小6年生も参加。



じゅんさい池緑地 市の担当者と回る

12月19日、じゅんさい池緑地を地域の皆さんと、見て回りました。市の公園緑地課の担当者が対応してくれました。

この間、じゅんさい池緑地を毎日散歩している皆さんから、「笹の葉が伸びて池が見えなくなっている」「鴨が減っている。子どもが生まれても食べられてしまっている」「奥の方の通路が、石畳で転んで

しまう」など、たくさんの要望が寄せられていました。

当日は、日頃感じている疑問や要望など、市の担当者の説明を聞きながら、池の周りを歩きまわりました。梅の木や桜の木の選定、強剪定について、所々で、「少し時期を考えるとやります」「少し様子見で」「こうした方が良いでしょう」など、とても具体的な話ができて、良かったです。参加された方も「市の担当者として良かったです」と満足していました。

◎1月13日(火)
担当 井出達希弁護士
◎2月10日(火)
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

無料法律相談

来年4月が市長選挙になります。田中市長のスキャンダルがマスコミに掲載されていますが、本人は知らぬ存ぜぬです。各団体、個人の皆さんにお集まりいただき、市政について率直な意見交換をしたいと考えています。主催は市議団です。

1月16日(金)
14時～

市川市文化会館
第1会議室

来春の市長選に向けて、市政懇談会開きます

《主な活動報告 11、12月》

☆11月16日 区画整理・再開発研究集会

NPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議が主催して、各地から「環状4号線再開発」「物流センター誘致」「学校統廃合」など運動報告がありました。記念講演は「再開発の中で住まいは権利を考える」と題して、和洋女子大学名誉教授の中島明子さんが報告。問題提起を柏市柏駅西口再開発の住民運動を、鈴木英雄さんが報告。市川市でも本八幡駅北口再開発が行われているので、参考にすることができました。

☆11月27日 年金者組合支部総会であいさつ

年金者組合市川浦安支部の総会が開かれ、市議団を代表して挨拶しました。年金者組合はこの1年間、様々な運動に取り組んでいます。年金支給日には、「物価高騰に年金が追いついていない。安心して生活できる年金を」と訴え、市川駅と本八幡駅で宣伝を行っています。

☆12月13日 須和田の友和会

須和田の友和会は「老人会」です。私も参加し毎月、様々な取り組みをしています。秋は奉仕活動で、自治会館内と庭のお掃除をしました。13日は、会員の友人で桑川親方(元小結・琴稲妻)が参加してくれました。質問もたくさん出て、大変楽しい会になりました。

☆12月20日 4区14区市民連合のつどい

最初に参同人集会が開かれ、運動の総括、今後の方針、会計報告がありました。その後、「女性政治家を囲むつどい」に移りました。日本共産党の斉藤かず子さん、社会民主党の大椿ゆう子さん、立憲民主党の酒井なつみさん、司会は宮腰直子弁護士が行いました。それぞれ個性があり、「自民は維新と組んだ時点で終わってる」「共闘だけでは勝てない。無党派層や若者をどう取り込むか」「一致点を大事に」「対話は朝より夕方」など、刺激になりました。